



# 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月25日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社

上場取引所 東証一部、名証一部

コード番号 5471

URL <http://www.daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 正俊

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 野村 敏夫 TEL (052) 963-7501

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	142,621	15.6	6,082	△32.7	6,635	△30.7	3,491	△34.0
19年3月期第1四半期	123,415	7.9	9,037	46.4	9,574	37.6	5,289	41.4
19年3月期	522,620		31,700		33,029		19,552	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	8 05	—
19年3月期第1四半期	12 19	—
19年3月期	45 06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	542,673	208,887	35.3	441 45
19年3月期第1四半期	476,928	190,783	36.5	401 19
19年3月期	525,569	205,292	35.7	432 89

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	8,638	△6,331	748	13,992
19年3月期第1四半期	5,957	△6,833	△643	12,578
19年3月期	15,151	△34,297	15,667	10,814

## 2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
中間期	287,000	15.2	13,000	△22.3	13,500	△22.8	7,500	△25.9	17 28	
通期	600,000	14.8	37,000	16.7	37,000	12.0	20,000	2.3	46 09	

## 3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

## [参考]個別業績の概要

## 1. 平成20年3月期第1四半期の個別業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

## (1) 個別経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期) 純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第1四半期	93,603 22.3	1,166 △73.0	2,926 △48.8	2,667 △37.4
19年3月期第1四半期	76,514 10.7	4,313 150.3	5,720 98.9	4,260 109.2
19年3月期	332,560	14,318	16,014	10,794

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	6 15	—
19年3月期第1四半期	9 82	—
19年3月期	24 87	—

## (2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	397,385	135,307	34.0	311 76
19年3月期第1四半期	340,445	127,480	37.4	293 68
19年3月期	378,548	132,823	35.1	306 02

## 2. 平成20年3月期の個別業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
中間期	192,000 24.2	5,000 △35.7	6,000 △32.9	4,000 △33.0	9 22
通期	400,000 20.3	18,500 29.2	19,000 18.6	12,500 15.8	28 80

## ※業績予想の適切な利用に関する説明

上記の予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提、仮定に基づいております。今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますのでご了解下さい。なお、上記業績予想に関する事項は、4ページをご参照下さい。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当連結会計年度の第1四半期（平成19年4月1日から平成19年6月30日まで）におけるわが国経済は、公共投資に弱めの動きがみられるものの、海外経済の拡大を背景に輸出は増加を続け、高水準で推移する企業収益のもと民間設備投資も引き続き増加いたしました。このような内外需要の増加を背景に景気は緩やかな拡大を続けております。

特殊鋼業界の主要需要産業である自動車は、国内販売は減少しましたが、引き続きKDセットを中心に輸出が好調に推移し、生産台数は前年同期を上回りました。それに伴い当社グループでも自動車関連事業を中心に堅調に推移しました。また、電子・磁性材料やエンジニアリング関連の一部の製品を除き、その他の事業につきましても需要は堅調に推移し、高水準の生産が継続いたしました。

このような需要環境の中、当第1四半期の当社グループの売上高は1,426億21百万円と前年同期比192億5百万円の増収（前年同期比+15.6%）となりました。利益面では、高騰を続けるニッケルなどの各種金属、鉄スクラップに起因したコスト増を、コストダウンや販売価格改善などで吸収に努めましたが、経常利益は66億35百万円と前年同期比29億39百万円の減益、四半期純利益は34億91百万円と前年同期比17億98百万円の減益となりました。

セグメント（部門）別の状況は、以下のとおりです。

#### 特殊鋼鋼材

特殊鋼鋼材の主要需要分野である自動車の国内販売は前年同期比8%減少しましたが、海外での販売好調により輸出は増加し、国内生産台数は前年同期比4%の増加となりました。その他の需要分野も産業機械、建設機械を中心に依然堅調を維持しており、好調な需要環境が続きました。こうした環境下、一部に前年同期に比べ減少した製品があったものの売上数量は前年同期比2%の増加となりました。生産面では、中国を中心とした世界的なスクラップ需要拡大を背景としたスクラップ価格急騰により、原材料調達が一時的に困難となったことから4～5月に緊急的な減産を実施しました。ニッケルを中心とした各種金属の高騰に対してはコスト改善とともに引き続き販売価格改善を進めました。その結果、当部門の売上高は799億50百万円、前年同期比17.3%の増加となりました。

#### 電子・磁性材料

帯鋼製品は、在庫調整等により前年同期に比べ数量は減少しましたが、原材料価格高騰に対する販売価格改善を進めたことにより売上高は増加しました。磁石材料は、FAサーボモーターや携帯電話向けの製品を中心に好調に推移しました。また、薄膜・電子材料は、冷陰極管ニオブ材やコバルト蒸着材の売上高が伸長しました。その結果、当部門の売上高は197億14百万円、前年同期比36.5%の増加となりました。

#### 自動車部品・産業機械部品

自動車部品関連は、好調な自動車生産を受け熱間精密鍛造品が堅調に推移しました。また、精密鋳造品は、欧州ディーゼルターボ市場拡大を受けて引き続き増加しました。産業機械部品関連は、重電、航空機、船舶、化学関連の好調な需要を受け数量は堅調に推移し、原材料価格高騰に対する販売価格改善をさらに推し進めました。その結果、当部門の売上高は285億44百万円、前年同期比8.6%の増加となりました。

#### エンジニアリング

堅調な民間設備投資に牽引され主力製品のSTC炉等を中心に好調に推移しましたが、真空熱処理炉は前年同期比では減少しました。その結果、当部門の売上高は77億83百万円、前年同期比6.0%の減少となりました。

#### 新素材

チタン製品は、医療用途やプラント用途を中心に引き続き堅調に推移し、主原料価格の高騰に対しては販売価格改善を進めました。粉末製品は、国内での自動車、産業機械関連の好調な需要と海外市場の開拓により引き続き増加し、原材料価格高騰に対し販売価格改善を進めました。その結果、当部門の売上高は40億58百万円、前年同期比41.3%の増加となりました。

#### 流通・サービス

子会社において建材部門から撤退したことにより売上高が減少しました。その結果、当部門の売上高は25億68百万円、前年同期比23.2%の減少となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産の状況

当社グループの当第 1 四半期末の総資産は 5,426 億 73 百万円と前連結会計年度末に比べ 171 億 3 百万円の増加となりました。

総資産の主な増減内訳と要因は以下のとおりです。

- ①「棚卸資産」の増加 132 億 60 百万円…主として原材料価格高騰に伴う在庫単価の上昇による増加。
- ②「投資有価証券」の増加 41 億 50 百万円…主として期末時価の上昇による時価評価差額の増加。

また、当社グループの当第 1 四半期末の純資産額は 2,088 億 87 百万円と前連結会計年度末に比べ 35 億 94 百万円の増加となりました。

純資産額の主な増加内訳と要因は以下のとおりです。

- ①「利益剰余金」の増加 17 億 55 百万円…当四半期純利益 34 億 91 百万円の計上による増加および利益剰余金の配当 17 億 36 百万円による減少。
- ②「その他有価証券評価差額金」の増加 17 億 39 百万円…期末時価の上昇による増加。

この結果、当第 1 四半期末の自己資本比率は 35.3%となり、前連結会計年度末(35.7%)と比べ 0.4 ポイント低下し、1 株当たり純資産額は 441 円 45 銭と前連結会計年度末に比べ 8 円 56 銭増加しております。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比 31 億 78 百万円増加し、139 億 92 百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は、前年同期比 26 億 80 百万円増加の 86 億 38 百万円となりました。これは、原材料価格の高騰により税金等調整前四半期純利益は前年同期比で減益となりましたが、法人税等の支払額が減少したためです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による支出は、ほぼ前年同期並みの 63 億 31 百万円となりました。有形固定資産の取得による支出 57 億 27 百万円が主な内容です。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による収入は、借入金の増加などにより 7 億 48 百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、第 1 四半期の業績が概ね当初予想どおりに推移しているため、平成 19 年 4 月 26 日の決算発表時の業績予想から変更はありません。

なお、1 株当たり予想当期純利益（通期）につきましては、当四半期末における普通株式の発行済株式数（連結）に基づいて算出しております。

## 4. (要約) 四半期連結財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)	当第1四半期末 (平成19年6月30日現在)	増 減	前第1四半期末 (平成18年6月30日現在)
(資産の部)				
<u>流動資産</u>	<u>264,156</u>	<u>275,480</u>	<u>11,323</u>	<u>234,236</u>
現金及び預金	11,834	14,514	2,680	12,698
受取手形及び売掛金	136,653	133,560	△ 3,092	118,864
棚卸資産	106,058	119,318	13,260	95,091
繰延税金資産	5,543	4,293	△ 1,249	3,373
その他	5,107	4,739	△ 367	5,085
貸倒引当金	△ 1,040	△ 946	93	△ 877
<u>固定資産</u>	<u>261,412</u>	<u>267,193</u>	<u>5,780</u>	<u>242,691</u>
有形固定資産	(160,471)	(161,126)	(655)	(154,863)
建物及び構築物	49,474	49,858	384	47,174
機械装置及び運搬具	72,226	73,456	1,230	69,462
土地	30,038	30,017	△ 20	30,187
建設仮勘定	5,026	3,950	△ 1,075	4,759
その他	3,705	3,843	137	3,279
無形固定資産	(926)	(906)	(△ 20)	(962)
投資その他の資産	(100,014)	(105,159)	(5,145)	(86,866)
投資有価証券	82,151	86,301	4,150	72,365
長期貸付金	399	385	△ 13	469
繰延税金資産	1,227	1,259	32	1,248
その他	16,584	17,571	986	13,423
貸倒引当金	△ 348	△ 359	△ 10	△ 641
資産合計	525,569	542,673	17,103	476,928

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)	当第1四半期末 (平成19年6月30日現在)	増 減	前第1四半期末 (平成18年6月30日現在)
(負債の部)				
流動負債	224,540	234,440	9,900	191,769
支払手形及び買掛金	94,493	104,152	9,659	79,882
短期借入金	85,675	85,272	△ 402	69,748
未払法人税等	5,159	1,544	△ 3,614	1,360
繰延税金負債	—	3	3	2
賞与引当金	6,888	2,942	△ 3,946	3,302
役員賞与引当金	252	—	△ 252	—
その他	32,071	40,525	8,453	37,472
固定負債	95,735	99,345	3,609	94,376
社 債	20,700	20,700	—	20,700
長期借入金	51,356	53,259	1,903	51,364
繰延税金負債	12,867	14,138	1,271	11,401
再評価に係る繰延税金負債	1,694	1,694	—	1,694
退職給付引当金	4,069	4,110	41	4,296
役員退職慰労引当金	—	1,179	1,179	—
負ののれん	33	80	46	52
その他	5,014	4,180	△ 833	4,866
負債合計	320,276	333,785	13,509	286,145
(純資産の部)				
株 主 資 本	167,939	169,683	1,743	155,461
資 本 金	37,172	37,172	—	37,172
資本剰余金	28,554	28,554	0	28,549
利益剰余金	102,461	104,216	1,755	89,937
自己株式	△ 248	△ 260	△ 11	△ 197
評価・換算差額等	19,899	21,867	1,968	18,646
その他有価証券評価差額金	17,686	19,425	1,739	17,090
繰延ヘッジ損益	6	2	△ 3	3
土地再評価差額金	1,356	1,356	—	1,356
為替換算調整勘定	850	1,082	231	195
少数株主持分	17,453	17,336	△ 116	16,675
純 資 産 合 計	205,292	208,887	3,594	190,783
負債純資産合計	525,569	542,673	17,103	476,928

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期	当第1四半期	増 減	前連結会計年度
	(自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)		(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
売 上 高	123,415	142,621	19,205	522,620
売 上 原 価	101,255	123,792	22,537	440,077
売 上 総 利 益	22,160	18,828	△ 3,331	82,542
販売費及び一般管理費	13,122	12,746	△ 376	50,842
営 業 利 益	9,037	6,082	△ 2,955	31,700
営 業 外 収 益				
受取利息及び配当金	468	524	56	1,176
持分法による投資利益	595	529	△ 66	2,539
そ の 他	366	519	152	1,748
計	1,430	1,573	142	5,464
営 業 外 費 用				
支 払 利 息	402	573	171	1,889
そ の 他	490	446	△ 44	2,244
計	893	1,020	126	4,134
経 常 利 益	9,574	6,635	△ 2,939	33,029
特 別 利 益				
固定資産売却益	43	706	662	209
貸倒引当金戻入額	98	116	18	140
そ の 他	—	25	25	571
計	141	848	706	922
特 別 損 失				
役員退職慰労引当金繰入額	—	511	511	—
退職給付費用	—	117	117	—
投資有価証券評価損	0	5	4	9
減 損 損 失	0	0	△ 0	269
そ の 他	—	43	43	27
計	1	677	676	306
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	9,714	6,806	△ 2,908	33,645
法人税、住民税及び事業税	1,135	1,322	186	10,065
法人税等調整額	2,665	1,354	△ 1,310	1,706
少数株主利益	623	638	14	2,320
四半期(当期)純利益	5,289	3,491	△ 1,798	19,552

## (3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

（単位：百万円）

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	37,172	28,548	87,047	△ 178	152,589
第1四半期中の変動額					
剰余金の配当			△ 2,170		△ 2,170
役員賞与			△ 230		△ 230
四半期純利益			5,289		5,289
自己株式の取得				△ 19	△ 19
自己株式の処分		0		1	2
株主資本以外の項目の 第1四半期中の変動額 (純額)					
第1四半期中の変動額合計	—	0	2,889	△ 18	2,871
平成18年6月30日残高	37,172	28,549	89,937	△ 197	155,461

	評価・換算差額等					少 数 株 主 持 分	純資産合計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	土 地 再 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成18年3月31日残高	18,548	—	1,356	152	20,057	16,520	189,167
第1四半期中の変動額							
剰余金の配当							△ 2,170
役員賞与							△ 230
四半期純利益							5,289
自己株式の取得							△ 19
自己株式の処分							2
株主資本以外の項目の 第1四半期中の変動額 (純額)	△ 1,458	3	—	43	△ 1,411	155	△ 1,256
第1四半期中の変動額合計	△ 1,458	3	—	43	△ 1,411	155	1,615
平成18年6月30日残高	17,090	3	1,356	195	18,646	16,675	190,783



当第1四半期(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	37,172	28,554	102,461	△ 248	167,939
第1四半期中の変動額					
剰余金の配当			△ 1,736		△ 1,736
四半期純利益			3,491		3,491
自己株式の取得				△ 13	△ 13
自己株式の処分		0		1	1
株主資本以外の項目の 第1四半期中の変動額 (純額)					
第1四半期中の変動額合計	—	0	1,755	△ 11	1,743
平成19年6月30日残高	37,172	28,554	104,216	△ 260	169,683

	評価・換算差額等					少数株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	17,686	6	1,356	850	19,899	17,453	205,292
第1四半期中の変動額							
剰余金の配当							△ 1,736
四半期純利益							3,491
自己株式の取得							△ 13
自己株式の処分							1
株主資本以外の項目の 第1四半期中の変動額 (純額)	1,739	△ 3	—	231	1,968	△ 116	1,851
第1四半期中の変動額合計	1,739	△ 3	—	231	1,968	△ 116	3,594
平成19年6月30日残高	19,425	2	1,356	1,082	21,867	17,336	208,887

前連結会計年度（自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成 18 年 3 月 31 日残高	37,172	28,548	87,047	△ 178	152,589
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 3,906		△ 3,906
役員賞与			△ 232		△ 232
当期純利益			19,552		19,552
自己株式の取得				△ 79	△ 79
自己株式の処分		6		9	15
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動 額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計	—	6	15,413	△ 69	15,350
平成 19 年 3 月 31 日残高	37,172	28,554	102,461	△ 248	167,939

	評価・換算差額等					少 数 株 主 持 分	純資産合計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	土 地 再 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成 18 年 3 月 31 日残高	18,548	—	1,356	152	20,057	16,520	189,167
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当							△ 3,906
役員賞与							△ 232
当期純利益							19,552
自己株式の取得							△ 79
自己株式の処分							15
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動 額（純額）	△ 862	6	—	698	△ 157	932	774
連結会計年度中の変動額合計	△ 862	6	—	698	△ 157	932	16,124
平成 19 年 3 月 31 日残高	17,686	6	1,356	850	19,899	17,453	205,292

## (4) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第1四半期	当第1四半期	前連結会計年度
	(自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕			
税金等調整前四半期(当期)純利益	9,714	6,806	33,645
減価償却費	4,173	4,454	16,544
減損損失	0	0	269
貸倒引当金の増減額(減少:△)	△ 98	△ 83	△ 230
賞与引当金の増減額(減少:△)	△ 3,760	△ 3,947	△ 178
役員賞与引当金の増減額(減少:△)	—	△ 252	252
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△ 15	41	△ 242
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	—	328	—
受取利息及び受取配当金	△ 468	△ 524	△ 1,176
支払利息	402	573	1,889
為替差損益(差益:△)	28	△ 61	32
負ののれん償却額	△ 7	△ 7	△ 28
持分法による投資損益(利益:△)	△ 595	△ 529	△ 2,539
投資有価証券等売却損益(売却益:△)	△ 0	△ 15	△ 191
投資有価証券等評価損	0	5	51
有形固定資産売却損益(売却益:△)	△ 46	59	△ 181
有形固定資産除却損	243	230	1,068
売上債権の増減額(増加:△)	1,915	3,155	△ 15,549
棚卸資産の増減額(増加:△)	△ 2,724	△ 13,235	△ 13,474
仕入債務の増減額(減少:△)	2,590	9,613	16,977
その他の増減額	6,721	6,858	△ 4,027
小 計	18,074	13,469	32,910
利息及び配当金の受取額	746	805	1,476
利息の支払額	△ 426	△ 562	△ 1,870
法人税等の支払額	△ 12,436	△ 5,074	△ 17,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,957	8,638	15,151
〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕			
定期預金の預入による支出	△ 0	△ 101	△ 900
定期預金の払戻による収入	600	600	600
有形固定資産の取得による支出	△ 5,003	△ 5,727	△ 24,361
有形固定資産の売却による収入	138	300	593
投資有価証券の取得による支出	△ 2,524	△ 1,312	△ 10,195
投資有価証券の売却による収入	—	43	270
貸付けによる支出	△ 243	△ 29	△ 321
貸付金の回収による収入	48	20	189
その他の収入又は支出(支出:△)	152	△ 125	△ 171
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,833	△ 6,331	△ 34,297
〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕			
短期借入金の純増減額(減少:△)	△ 2,823	1,735	8,234
コマーシャルペーパーの純増減額(減少:△)	5,000	1,000	8,000
長期借入れによる収入	1,400	2,000	17,900
長期借入金の返済による支出	△ 2,160	△ 2,196	△ 13,821
配当金の支払額	△ 1,826	△ 1,398	△ 3,894
少数株主への配当金の支払額	△ 215	△ 379	△ 686
その他の収入又は支出(支出:△)	△ 17	△ 11	△ 63
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 643	748	15,667
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 26	123	169
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 1,545	3,178	△ 3,309
現金及び現金同等物の期首残高	14,104	10,814	14,104
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	20	—	20
現金及び現金同等物の期末残高	12,578	13,992	10,814

## (5)セグメント情報

## ①事業の種類別セグメント情報

前第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

（単位：百万円）

	特殊鋼	電子・磁性材料	自動車部品・産業機械部品	エンジニアリング	新素材	流通・サービス	計	消去または全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	68,187	14,441	26,291	8,279	2,871	3,344	123,415	—	123,415
(2)セグメント間の内部売上高 または振替高	7,574	163	6,661	276	201	2,225	17,102	(17,102)	—
計	75,761	14,605	32,952	8,556	3,073	5,570	140,518	(17,102)	123,415
営業費用	71,593	14,001	30,096	7,891	2,737	5,116	131,437	(17,059)	114,378
営業利益	4,167	603	2,856	664	335	453	9,081	△ 43	9,037

当第1四半期（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

（単位：百万円）

	特殊鋼	電子・磁性材料	自動車部品・産業機械部品	エンジニアリング	新素材	流通・サービス	計	消去または全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	79,950	19,714	28,544	7,783	4,058	2,568	142,621	—	142,621
(2)セグメント間の内部売上高 または振替高	9,742	348	10,076	457	155	2,173	22,953	(22,953)	—
計	89,692	20,063	38,621	8,241	4,214	4,742	165,574	(22,953)	142,621
営業費用	90,107	18,389	35,525	7,921	3,272	4,275	159,491	(22,952)	136,539
営業利益 (△は営業損失)	△ 414	1,673	3,095	319	941	466	6,083	△ 1	6,082

前連結会計年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	特殊鋼	電子・磁性材料	自動車部品・産業機械部品	エンジニアリング	新素材	流通・サービス	計	消去または全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	287,753	64,453	107,045	37,200	13,858	12,308	522,620	—	522,620
(2)セグメント間の内部売上高 または振替高	29,680	744	23,074	1,139	699	8,337	63,676	(63,676)	—
計	317,433	65,197	130,120	38,340	14,558	20,646	586,296	(63,676)	522,620
営業費用	305,718	61,844	119,579	36,025	12,246	19,132	554,547	(63,627)	490,919
営業利益	11,714	3,352	10,541	2,314	2,312	1,514	31,749	△ 49	31,700

## (注) 1. 事業区分の方法

当社グループの事業区分の方法は、事業内容別に6部門にセグメンテーションしております。

## 2. 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要な事業内容
特殊鋼鋼材	・自動車、産業機械および電気機械向け部品用材料、建設用材料、溶接用材料 ・特殊鋼鋼材加工、流通 ・原材料販売 ・運輸、物流
電子・磁性材料	・高合金製品、電気・電子部品用材料、磁材製品（OA・FA用モーター、自動車用モーター・センサー、計測機器用部品等）
自動車部品・産業機械部品	・型鍛造品、熱間精密鍛造品および鋼機製品（自動車・ベアリング向け部品等） ・自由鍛造品（船舶・産業機械・電機・鉄鋼・化工機・石油掘削用部品、宇宙・航空機用部品等） ・鋳鋼品（鉄道用マカソール、自動車・産業機械・電機・各種炉用部品、高級鋳鋼品等） ・精密鍛造品（自動車・産業機械・電機・通信機器用部品、チタンゴルフヘッド等） ・製材用帯鋸 ・エンジンバルブ ・圧縮機器、油圧機器、工作機械部品
エンジニアリング	・鉄鋼設備、各種工業炉ならびにその付帯設備、環境関連設備（排水・排ガス・廃棄物等の処理設備）、工作機械等 ・機械設備の保守管理
新素材	・粉末製品、チタン材料製品、形状記憶合金等 ・開発製品
流通・サービス	・グループ会社製品の販売、福利厚生サービス、不動産・保険事業 ・ゴルフ場経営 ・分析事業、ソト外販事業

## ②所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計および全セグメントの資産の合計に占める「本邦」の割合が、いずれも90%を超えているため、開示を省略しております。

## ③海外売上高

前第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

(単位：百万円)

	北米	アジア	その他	計
I. 海外売上高	4,170	10,526	1,308	16,005
II. 連結売上高	—	—	—	123,415
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合	3.4%	8.5%	1.1%	13.0%

当第1四半期（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

(単位：百万円)

	北米	アジア	その他	計
I. 海外売上高	4,078	12,654	2,490	19,223
II. 連結売上高	—	—	—	142,621
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合	2.9%	8.9%	1.7%	13.5%

前連結会計年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

(単位：百万円)

	北米	アジア	その他	計
I. 海外売上高	15,446	46,315	6,912	68,674
II. 連結売上高	—	—	—	522,620
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合	3.0%	8.9%	1.2%	13.1%

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米……………アメリカ、カナダ

(2) アジア……………台湾、韓国、タイ、マレーシア、中国ほか

(3) その他の地域……………イタリア、イギリス、ドイツほか

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。